

事務事業名	体力向上推進事業				担当	教育委員会 学校教育課 指導係			
政策名	1	「人づくり」～豊かなこころアップ!～				☒ 総重（総合計画重点事業） ☐ 総新（総合計画新規事業）			
施策名	2	心の教育と健やかな体づくり				☐ 戦拡（総合戦略拡充事業） ☐ 戦新（総合戦略新規事業）			
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略				事業期間	☐ 単年度のみ			
法令根拠						☒ 毎年度実施（開始年度 H29 年度～）			
予算科目	1.一般会計	10.教育費	1.教育総務費	3.教育振興費		☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
予算科目									
予算科目									
事業概要	子ども達の体力の低下傾向を改善するため、各学校においては、工夫・改善を図りながら体力の向上に努めている。各校の取組がより効果的になるよう、真岡市体力向上推進委員会を開催するとともに、真岡市体力向上プログラムを作成し、各校の体力向上に向けた取組を支援する。 【種目】 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、 20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ（小学校）、ハンドボール投げ（中学校）								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）				④活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
5年度実績 「真岡市体力向上プログラム第2版」を活用した「体力推進アップシート」を作成。各学校の体力向上の取組が全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果に基づいて評価・改善されるよう進めた。 真岡市体力向上推進委員会を開催し、家庭においても運動の習慣化が図られるよう「真岡市チャレンジカード」を作成し、全児童に配布した。 6年度計画 各校の「体力推進アップシート」を活用した体力向上の取組を推進する。コロナ禍により中止していた小学校における「学級対抗長縄8の字跳びにチャレンジ～『8の字もおかびょん』」を実施する。 真岡市体力向上推進委員会を開催する。 県の体力向上エキスポパーティーチャーター派遣事業と連携をし各学校の取組を推進する。 家庭と連携した体力づくりの取組（第2版）を作成し周知する。				名称	単位	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(見込)	
				ア	小学校実施種目数	種目	0	8	8	8	8
				イ	中学校実施種目数	種目	0	8	8	8	8
				ウ	対象となる学年の数	学年	0	9	9	9	9
				エ	推進委員会の開催回数	回	0	2	2	2	2
				オ							
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等				⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
児童生徒（小学校1年生～中学校3年生）				名称	単位	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(見込)	
				ア	児童数	人	4,383	4,343	4,229	4,192	4,192
				イ	生徒数	人	2,255	2,222	2,247	2,172	2,172
				ウ							
				エ							
				オ							
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）				⑥成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
児童生徒の体力に関する課題を的確に把握し、体力の向上に努め、全国体力・運動能力、運動習慣等調査で全国の体力合計点を上回る。				名称	単位	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(見込)	
				ア	全国体力・運動能力調査で全国を上回った小学校(男子)	校	0	3	3	11	12
				イ	全国体力・運動能力調査で全国を上回った小学校(女子)	校	0	5	9	10	11
				ウ	全国体力・運動能力調査で全国を上回った中学校(男子)	校	0	5	2	6	7
				エ	全国体力・運動能力調査で全国を上回った中学校(女子)	校	0	4	6	7	8
				オ							
② 総事業費の推移				単位	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
			県支出金	千円	0	0	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0	0	0		
			一般財源	千円	48	48	118	100	100		
	事業費計（A）			千円	48	48	118	100	100		

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) 子どもの元気な成長プロジェクトの子どもの体力アッププログラムの成果の目標に結びつく。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) 子どもたちの基礎体力の向上を図り運動習慣を確立することは、市の重要施策である。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	☒ 対象・意図を見直す必要はない ☐ 対象を見直す必要がある ☐ 意図を見直す必要がある (評価理由) 児童生徒一人一人の体力の向上に資することであり、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地はない ☐ 向上余地がある (評価理由) 引き続き、真岡市体力向上プログラムを参考にし、各学校は体力向上の取組を実践する。その取組が効果的になるよう各学校を支援する。また、家庭で運動の習慣化が図れるよう、取組を周知する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	☐ 類似事業と統合・連携ができる (類似の事務事業名：) ☐ 類似事業と統合・連携できない (類似の事務事業名：) ☒ 類似事業はない (評価理由)
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある (評価理由) 成果を上げるためには、必要最低限である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画）

☐ 廃止
☐ 見直し（☐：目的妥当性 ☐：有効性 ☐：効率性）
☐ 統合
☒ 継続

子どもたちの基礎体力の向上を図り運動習慣を確立することは、市の重要施策であるため継続的に取り組む必要がある。

(3) 改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	／
	低下		／	

(2) 課題、課題の克服の方向性

運動する習慣が身に付きつつある。運動が苦手でも体を動かすことが好きであるという児童生徒を増やしなが、新体力テストで課題となっている種目でも全国を上回る結果になるように効果的な手立てが必要である。

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ☐ 記述説明不足(説明責任不充分) ☐ 評価内容が客観性を欠く ☒ 評価内容は客観的と言える		(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
					コスト																		
			削減	維持	増加																		
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																							
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☐ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他 2次評価会議で指摘された事項																						